

Clover

立山北部小学校

4年 学年だより

令和4年度 7月号

1学期のまとめの時期です！



観測史上最も早い梅雨明けと同時にギラギラとした太陽がまぶしく感じられる頃となりました。肌をジリッと焼く真夏の太陽の下、子供たちの何よりの楽しみは、水泳学習の時間です。先日、今年度最初の水泳学習を行いました。今回は、水泳学習の際の約束の確認や水に慣れる活動を中心に行いましたが、子供たちは、水の感触に大喜びでした。自分の目当てに向かって楽しく学習に取り組んでほしいと思います。

さて、早いもので、1学期も最後の月を迎えました。今月は、学習のまとめを行ったり、学級での活動を見直したりしながら、友達と力を合わせる活動を行い、2学期に繋ぐ大切な月となるように取り組んでいきたいと思います



『いのちの授業』

6月28日（火）に、助産院の先生を講師にお招きし、「いのちの授業」を行いました。お母さんの子宮で成長する過程を、胎児の重さや大きさが分かるモデルを使って理解したり、紙芝居を見て赤ちゃん誕生に寄せる家族の思いを知ったりして、生命の神秘や生命誕生の尊さを実感しました。



「命のもと」の大きさを確認しました。最初は、気付きませんでしたが、光にかざすと紙に穴が空いています。「これが命の最初の大きさなんだよ。みんな最初はこれくらいの大きさだったんだよ」という先生の言葉に、「えー！！」と声があがりました。

先生から「今、ここにいるだけで、100点満点」とメッセージをいただきました。子供たちは命の大切さを感じていました。



胎児の心音を聞いたり、お母さんの子宮で成長する胎児や生まれたばかりの赤ちゃんの人形で重さや大きさを体験したりしました。どの子もとても優しいまなざしで、大切そうに抱っこしていました。

授業の後、「命のメッセージカード」に感想を書きました。感想を書きながら、「少し泣きそうになった」と話す子もいました。子供たちのメッセージカードを紹介します。



ぼくは今日、「いのちの授業」を受けました。内容は、赤ちゃんを産むまでのことです。お母さんは、ぼくを産むとき、大変だったでしょう。ぼくは、「いのちの授業」を受け、赤ちゃんを産むのは、宝くじを100万回するくらいの奇跡だと分かりました。お母さん、産んでくれてありがとう。この奇跡を大切に勉強をちゃんとします。

わたしのことを産んでくれてありがとう。今日、「いのちの授業」を受けました。初めて、赤ちゃんを産む大変さを知って、お母さんは、大変な思いをしたのだと分かりました。そんな思いで産んでくれた命を大切にして、次の命につなげたいです。わたしを産んでくれてほんとうにありがとう。

宿泊学習を振り返って…

6月21日（火）、22日（水）に呉羽青少年自然の家での宿泊学習を行いました。初めての宿泊学習に子供たちは不安と期待に胸を膨らませていました。子供たちと話し合っただけで決めたテーマは、「みんなでチャレンジ みんなで成長 一みんな協力して、しっかり学ぼう」でした。学校ではできない体験にチャレンジし、自分たちで考えながら助け合っただけでやっていこうという趣旨のものです。そのための活動は、主に5つ。野外炊飯（焼きそば作り）、ザリガニ釣り、オリエンテーリング、キャンドルサービス、竹ジャングル・池遊びでした。

事前の準備では、係の仕事内容を確認したり、活動の役割を決めたりしました。キャンドルサービスの出し物では、ゲームの説明のシナリオ作りから始め、時間を見付け、練習してきました。練習の過程で、意見が合わないこともありましたが、テーマの「みんなで協力して」を合言葉にがんばりました。

当日は、天候が心配されましたが、全ての活動を無事終わることができました。野外炊飯では、かまどで薪を組み立てて火を起こしたり、野菜を切って炒めたりと、それぞれの役割で一糸懸念に作りました。自分の役割を果たすだけでなく、「〇〇ちゃんも炒めてみるといいよ」と、みんなが経験できるように声をかける姿も見られました。子供たちは、みんなで作った焼きそばに大満足でした。森の木オリエンテーリングでも、疲れた人を気遣いながら声をかけ合っただけで、森の中を進んでいきました。キャンドルサービスでは、儀式は厳粛に、出し物では練習の成果を発揮し、楽しく盛り上げることができました。竹ジャングルや池遊びでは、どの活動でも声をかけ合い、班でまとまって活動することができました。また、宿舎での生活も、寝る準備やシーツたたみなど協力し合っただけで活動したり、活動開始時刻を教え合ったりするなど、協力するとはどんなことなのかということ、実際の体験を通して感じることもできたと思います。

学校に戻ってきて、帰校式で「ただいま」を伝える姿は、やり終えた充実感に満ちたものでした。呉羽で培った自分たちで助け合っただけで活動したり、活動の説明や話を自分でしっかり聞いたりすることを、今後の学校生活でもできるように励ましていきたいと思っています。保護者の皆様には、準備を整えてくださるなどお世話になり、ありがとうございました。



ぼくがチャレンジしたことは2つあります。1つ目は、焼きそばづくりです。焼きそばをいれたとき、熱かったり、目が痛くなったりしてたいへんでした。でも、がんばっていたためなら、とてもおいしい焼きそばになりました。2つ目は退所式のあいさつです。緊張したけれど、勇気を出して言いました。所員の方に伝わってうれしかったです。

わたしが成長したことは、5分前行動とあいさつです。普段はあまり時計を見て生活していなかったけれど、いろいろな活動がすぐにできるように5分前に廊下に並びました。あいさつは、二日間お世話になった所の方にきちんとしてすることができました。話をされているとき、返事をすることもできました。どの活動も楽しかったです。



おすすめの家庭学習



国語

・「しかし」や「だから」等、つなぎ言葉を使った文作りをする。

算数

・「角の大きさ」の教科書や計算スキルの問題をもう一度する。

理科

・「今の時期のつばめの巣の様子」「テントウムシやカブトムシの様子」「今の時期にどんな植物が育っているか」「閉じ込めた空気の性質を利用している身近なもの（タイヤ等）」「閉じ込めた水の性質を利用している身近なもの」等について調べ、「ほく book」に投稿する。

社会、総合

・環境問題について調べたことや考えたことをノートに書く。地球温暖化を防ぐために自分たちにできることを調べたり、実践したりする。